

三重建築学生合同課題発表会2021

昨年12月4日(土)、三重大学レーモンドホールにて「三重建築学生合同課題発表会2021」を開催しました。県内建築関係の3校、三重大学・三重短期大学・近畿大学工業高等専門学校から選抜された学生が集まってくれました。今回計画した合同課題発表会では、学生がそれぞれの授業で行った課題を発表し、学内の評価と違う価値に触れることで建築の幅広い魅力を知り、学生同士の交流のきっかけになることを目指しました。ゲストとして大阪より建築家SPACESPACE岸上純子さんにお越し頂き、講評とショートレクチャーをお願いしました。これまで県内ではこのような企画はなく、初めての開催となりましたが、予想を

超える45名の参加者が集まり、会場には熱気で満ちていました。

JIA三重では、5年前から教育支援出前授業として三重短大の設計課題でエスキースチェック、講評会に参加し、建築の魅力を学生に伝えてきました。この活動をより発展した形で1校だけではなく三重県全体の建築教育の盛り上がりのきっかけをつくりたい、そんな想いが今回の企画につながっています。コロナ禍でも必死に学んできた将来ある学生に発表の場をつくることは、地域の建築文化向上を目指すJIA三重の活動にふさわしいものだったと改めて感じました。また、会場を三重大学内に

たことで、アントニン・レーモンド設計(昭和26年)の木造モダニズム建築を発表者は実体験できる貴重な時間となり、場所選定の重要さも感じました。

発表会後に、県内で学ぶ学生・先生方・JIA会員が作品を見ながら語り合う姿を見て、コロナ禍にもかかわらず対面で実現でき本当に良かったと思いました。ご協力いただいた関係者の皆様ありがとうございました。これをきっかけに3校の交流が深まることを願っています。



森本 雅史 (JIA三重)
株式会社森本建築事務所



参加大学名

三重大学工学部総合工学科建築学コース2年生(6名)「課題:住宅」
三重短期大学生活科学科住居環境コース2年生(4名)「課題:コミュニセンター」
近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科都市環境コース(建築系)5年生(4名)
「課題:学生寮+地域交流施設」

私は合同課題発表会に運営委員として参加させて頂きました。発表会では、三重県内の3大学のそれぞれの強みや個性、岸上先生や実務で設計に携わっている方々の鋭い視点を直に感じることができ、大変充実した時間となりました。

3大学の学生の課題は、住宅・コミュニティーセンター・学生寮+地域交流施設と全く用途も異なり、また、表現方法においても、手書きの図面から3DCADによるものまで様々でした。先生方からは、プロの建築家の目で、「どうすれば

もっと伝わるのか」「伸ばすべき点は何か」について、厳しくも愛のある講評をして頂きました。講評後には岸上先生から、ご自身の活動についての紹介がありました。先生のお話から、建築家として、自分の住む町で主体的に地域に関わりながら活動することで、賑わい創出に貢献していくことの大切さを学びました。

今回の合同発表会は、普段の講義のみでは外部でどのようなことに取り組んでいるのか知ることのできない私たち学生にとって、他大学の学生やプロの建築家の方々と交流できた刺

激的な機会となりました。ほとんどの学生にとって初めてとなる大学外部での発表は、皆さんの努力と思いが詰まった素晴らしい講評会であったと思います。学生のモチベーションアップのためにも、今後もこのような合同発表会が開催されて欲しいと願います。



平西 明日香 (JIA三重)
学生会員